

今月のトピックス

- 1 感染性胃腸炎の報告が増加しており、今シーズンも市内からノロウイルス G .17 型が検出されています。
- 1 咽頭結膜熱、RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎などの報告が多くなっています。

全数把握の対象

【11 月期に報告された全数把握疾患】

細菌性赤痢	1 件	急性脳炎	1 件
腸管出血性大腸菌感染症	8 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 件
E 型肝炎	1 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)	2 件
デング熱	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	8 件
レジオネラ症	3 件	水痘 (入院例に限る)	2 件
アメーバ赤痢	5 件	梅毒	6 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 件		

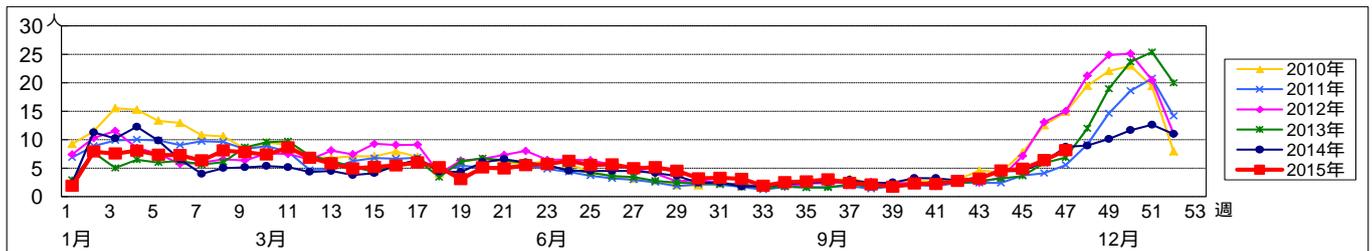
- 1 細菌性赤痢: *Shigella sonnei* (D 群) の報告が 1 件あり、渡航先 (インド) での感染が推定されています。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症: 海外での感染事例がありました。海外においても動物との接触や肉の摂取など、十分に気をつける必要があります。
- 3 E 型肝炎: 1 件の報告があり、原因は不明でした。国内での感染は、多くが生肉や内臓の喫食が関連しており、それらの喫食の際には十分加熱することが大切です。
- 4 デング熱: 1 件の報告があり、海外渡航歴 (インドネシア) がありました。
- 5 レジオネラ症: 肺炎型 3 件の報告がありましたが、感染経路等は現在調査中です。
- 6 アメーバ赤痢: 5 件の報告があり、1 件は国内での同性間性的接触による感染、2 件は国内での感染で感染経路不明、1 件は中国での経口感染、1 件は感染経路感染地域等不明でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 2 件の報告がありましたが、院内集団感染等の報告はありませんでした。
- 8 急性脳炎: 1 件の乳児の報告がありました。病原体検索中です。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 1 件の 80 歳代の報告があり、感染経路等不明でした。
- 10 後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者 1 件 (国内での同性間性的接触による感染)、AIDS 1 件 (感染経路感染地域等不明) の報告がありました。
- 11 侵襲性肺炎球菌感染症: 幼児 1 件、成人 7 件の報告がありました。幼児例では予防接種歴が 1 回 (詳細不明) ありましたが、成人例では予防接種歴が確認できませんでした。
- 12 水痘 (入院例に限る): 成人の届出が 2 件あり、どちらも臨床診断例でした。
- 13 梅毒: 6 件の報告 (早期顕症梅毒 期 3 件、早期顕症梅毒 期 2 件、無症候期 1 件の報告があり、すべて国内感染例でした。感染経路では、異性間性的接触 3 件、同性間性的接触 1 件、性的接触 (詳細不明) 1 件、感染経路感染地域等不明 1 件でした。

定点把握の対象

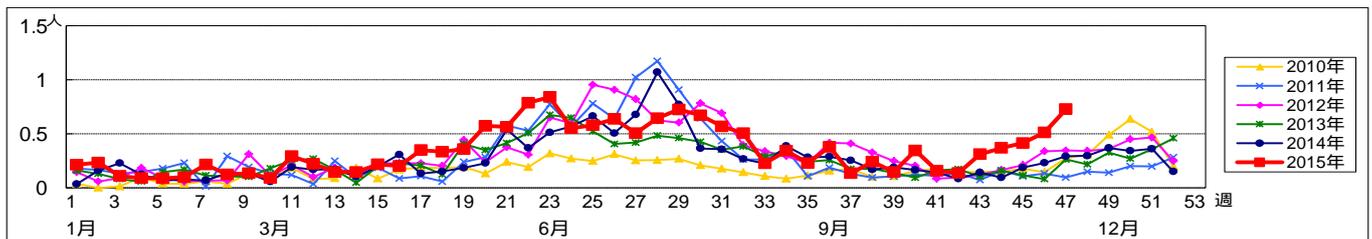
平成 27 年 週 - 月日対照表	
第 44 週	10 月 26 日 ~ 11 月 1 日
第 45 週	11 月 2 日 ~ 8 日
第 46 週	11 月 9 日 ~ 15 日
第 47 週	11 月 16 日 ~ 22 日

- 1 感染性胃腸炎: 第 47 週は市全体で定点あたり 8.12 と増加傾向です。区別では都筑区で既に 20.50 と警報発令基準値 (定点あたり 20.00) を上回っており注意が必要です。今シーズンは、いままでノロウイルスの主流の

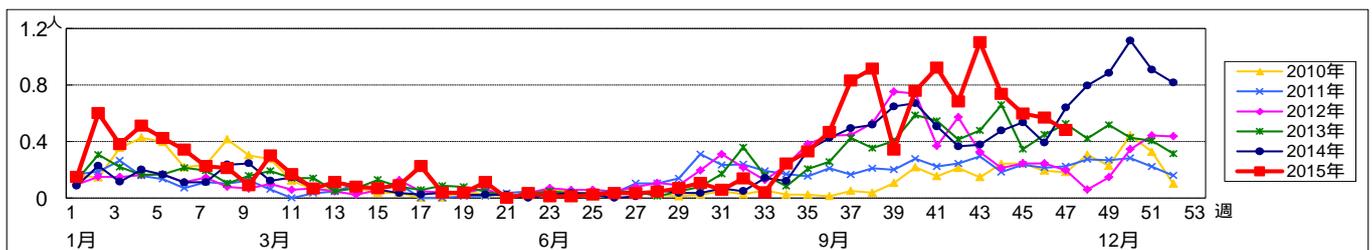
タイプであったG .4にかわり、G .17のノロウイルスの流行が危惧されていることから、**厚生労働省**が注意喚起しています。市内でも、昨シーズンは2015年1月頃から、いままで多く検出されていたG .4にかわり、G .17が検出されるようになりました。今シーズンもまだ全体の報告数は少ないものの、G .17が検出されています。G .17はノロウイルス迅速診断検査キットでの検出感度が低いことが報告されており、注意が必要です。



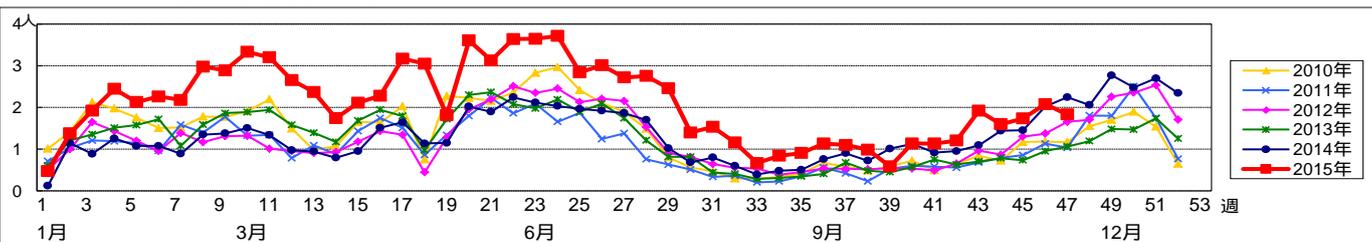
2 **咽頭結膜熱**:第47週は市全体で定点あたり0.73と増加傾向です。この時期では2010年以降最も報告が多くなっています。区別では磯子区で11.50と警報発令基準値(定点あたり3.00)を大きく上回っており、注意が必要です。



3 **RSウイルス感染症**:第47週は市全体で定点あたり0.48と、今年最も多かった第43週1.10より減少しましたが、まだ例年に比べて多い水準で推移しています。



4 **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**:第47週は市全体で定点あたり1.83と増加傾向です。例年年末にかけて増加するので注意が必要です。



5 **インフルエンザ**:第47週は市全体で定点あたり0.18と落ち着いています。ただ、学級閉鎖も報告されており、早めの予防接種が重要です。

6 **性感染症**:10月は、性器クラミジア感染症は男性が29件、女性が30件でした。性器ヘルペス感染症は男性が1件、女性が4件です。尖圭コンジローマは男性3件、女性が2件でした。淋菌感染症は男性が7件、女性が1件でした。

7 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第44週1.25、第45週1.25、第46週3.68、第47週1.50と、報告が多い状態が続いています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)が第45週~47週まで1件ずつ報告されています。細菌性髄膜炎が第45週に1件、第46週に1件報告されています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

8 **基幹定点月報**:10月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症8件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症1件の報告がありました。薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>